

指定管理者制度導入

市立図書館の管理・運営を NPO法人が行います

指定管理者制度導入により、平成25年4月1日からNPO法人「読書推進団体 枕崎みしのたぐかにと」が市立図書館の管理・運営を行うことになりました。

**はじめまして
「みしのたぐかにと」です**

これまでと同じように市民の身近な本棚として、また憩い

の場として快適な空間を提供できるように努める「みしのたぐかにと」。

休館日が基本的に毎週月曜日のみに変更となり、これまでより開館日数が多くなり、運営を行いますので、気軽に図書館へ足を運んでください。少し覚えにくい団体名は、絵本「みしのたぐかにと」から



① 4月23日に開かれた「おはなしのへや」 ② 枕崎中学校での読み聞かせ
③ NPO法人「読書推進団体 枕崎みしのたぐかにと」スタッフ一同

職員採用

市立病院看護師を随時募集

採用予定人員 2名程度

受験資格

- ① 看護師免許を有する者
- ※ 当該資格試験合格者を含む
- ② 平成26年4月1日現在の年齢が満41歳未満の者
- ③ 試験当日現在、市内医療機関の正規職員でない者

欠格事項 受験資格にかかわらず、次のいずれかに該当する者は受験できません。

- ・ 日本国籍を有しない者
- ・ 成年被後見人または被保佐人
- ・ 禁錮刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者
- ・ またはその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 枕崎市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過していない者
- ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

試験の方法及び内容

試験科目 教養試験、専門試験、作文試験、面接試験(個別面接)、健康診査(試験当日に

書提出)
試験日・場所 一定期間の応募者に対して、試験日時・場所を記載した受験票を送付します。
問合せ・申込み 枕崎市立病院管理係
〒898-0034 枕崎市日之出町230番地 TEL7203030
※ 申込書は市立病院に備付けています。郵送による請求の場合は、切手(120円)を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号・縦33センチ×横24センチ)を同封してください。市のホームページからもダウンロードできます。
受付期間 随時。病院での受付は平日午前8時30分から午後5時15分まで
合格発表 試験日後14日以内に、受験者全員に合否結果を文書で通知します。
採用 合格発表後の翌月1日から採用の予定です。
給与 枕崎市立病院事業企業職員の給与に関する規程に基づき支給されます。
※ 採用予定人員に達し次第、募集を中止することもあります。

魅力ある商店街づくりへ

商店街活性化に補助制度

**空き地・空き店舗を
利用した新規出店に**

商店街団体や新規出店者が商店街の空き地・空き店舗を賃借して新規出店する場合などに、賃借料及び改装費の一部を補助します。

■対象事業

- ・ 空き店舗を活用し、新たに新出する店舗や駐車場に係る賃借料
- ・ 空き店舗の改修及び改装

■新商品開発やイベント、施設整備に

新商品開発やイベントなどのソフト事業や街路施設整備などのハード事業を行う商店街団体に補助します。

・ 老朽空き店舗解体及び撤去
・ 新店舗及び駐車場の利用するための空き地の整備など

■補助対象者 新規出店者
※ 商工業者等を構成員として設立された法人または団体

■補助対象者 商工業者等を構成員として設立された法人または団体

■問合せ 水産商工課商工振興係 TEL721111(内線421)

チャレンジショップ出店者募集

お魚センターに 出店してみませんか

商店街等のにぎわいと活性化を図るため、新たに事業を始める方を対象に、チャレンジショップの出店者を募集します。チャレンジショップは、お魚センター内の空き店舗を利用して行います。

■補助内容 家賃補助(月額家賃全額 最大24か月)

■補助対象者 市内の商店街またはお魚センターに出店

計画を持っている小売業、サービス業、飲食業等の出店希望者で、お魚センター内の空きテナントを活用する法人または個人

■問合せ 水産商工課商工振興係 TEL721111(内線421)

森一浩氏、加藤勝海氏、古城江観氏の絵が寄贈



木村庄之助像(森一浩)



南想(加藤勝海)



枕崎大観(古城江観)

枕崎駅舎完成を記念して、日本とブラジルを中心に活躍している画家、森一浩さんから本市出身で36代木村庄之助さん(本名：山崎敏廣さん)の肖像画2点と、本市出身で京都在住の日本画家、加藤勝海さんから「南想」を寄贈していただきました。

また、鹿児島県出身の日本画家、古城江観さんが昭和6年に本市を訪れ、片平山から枕崎市街地を描いた、墨彩画「枕崎大観」を古城江観さんの孫の古城江寛さん(福岡市在住)から寄贈していただきました。

昭和6年は、加世田～枕崎間に南薩鉄道線が開通し、枕崎に初めて駅舎が出来た年でもあります。

南日本新聞社枕崎支局長に有馬知洋さんが赴任



4月1日より南日本新聞社枕崎支局長の新たな支局長に、有馬知洋さんが本社政経部から赴任されました。

有馬さんは、「すごく住みやすそうな街」というのが枕崎の第一印象だそうで、「実際住んでみて、食べ物がおいしくて、人もあたたかく親切で、本当にいい街だな」と言えるような仕事ができたらいいなと思っています。街で見かけたら気軽に声をかけていただき、どしどし情報をいただけたら助かります。よろしく願います」と話していました。